

E F P 関連製品テクニカルニュース

題名	4508/4509 グループ QzROM でのプロテクトビット設定エラーの御連絡			
対象製品	EFP-I、EFP-1M、EFP-S2V、EFP-S2	管理番号	B05H24-01	
対象ロット	全ロット	作成日	2005-08-24	Rev. 第1版
< 注意事項 >				
<p>4508/4509 グループ QzROM のシリアル入出力モードにて、プログラム、ベリファイ、デバイスマクロコマンドのコマンドダイアログ内の Writing of a Protection bit(W)のチェックボックスを有効の状態で行なうとプロテクトビットの書き込み時に "Protection bit write defect" エラーが発生します。</p> <p>スクリプトコマンドでのプロテクトビット書き込み時も同様の現象が発生致します。</p>				
< 発生原因 >				
<p>"Protection bit write defect" エラーはプロテクトビット書き込みを行なった結果、書き込みが正常終了しなかった場合に発生するエラーですが、ライタ制御コントロールソフトウェアの WinEfpRE (EFP-I/1M 用) および WinEFP2 (EFP-S2V/S2 用) のエラー判定処理に問題があり、常にエラー終了するようになっております。</p> <p>"Protection bit write defect" エラーが表示されますが、MCU に対するプロテクトビットの書き込みは正常に行われており、MCU はプロテクト状態となっておりますので、本エラーが発生しても MCU は問題無くご使用可能です。ただし、MCU がプロテクト状態となっているか下記手順でご確認いただいた後、ご使用ください。</p> <p>プロテクト確認方法：</p> <p>"Protection bit write defect" エラーが発生した MCU に対して、ブランクコマンドかリードコマンドを実行し "Read protect enable" エラーが発生するか確認してください。</p> <p>本エラーが発生しない場合は、MCU がプロテクト状態となっておりませんので、対策内容に記載されている処置を行なった後、ベリファイコマンドを使用してプロテクトビットの書き込みを実行してください。</p> <p>ライタにユーザープログラムをダウンロード ベリファイコマンドを選択、ベリファイ領域を指定し、Writing of a Protection bit(W)のチェックボックスを有効に設定し OK ボタンをクリック ベリファイが正常終了した後、プロテクトビットを書き込みます。</p>				
< 対策内容 >				
<p>ライタ制御コントロールソフトウェア WinEfpRE および WinEFP2 のバージョンアップを行なってください。プロテクトビットの書き込みで問題が生じるバージョンを下記に示します。</p> <p>WinEfpRE : Ver.1.30.13 以下のバージョン WinEFP2 : Ver.1.20.14 以下のバージョン</p> <p>下記の Web サイトにてバージョンアップ S/W をダウンロードいただけますので、ご使用ライタのコントロールソフトウェアをバージョンアップしてください。</p> <p>EFP-I/1M 用 Web アドレス : http://www.suisei.co.jp/download/efp1/efp_down.htm EFP-S2V 用 Web アドレス : http://www.suisei.co.jp/download/efps2/efps2v_down.htm EFP-S2 用 Web アドレス : http://www.suisei.co.jp/download/efps2/efps2_down.htm Web サイト内の "Product CD 最新版" をクリックしてください。</p>				
株式会社 替星電子システム				